

# 「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		建設事業費（特別会計）[市街化調整区域の整備事業]							
予算科目	款 2	事業費	項 2	建設事業費	目 1	建設事業費	事業番号	1	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	下水道 課			業務 係			課長名	廣瀬 裕	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	4 - 1		
【施策名】 市街地の整備						総合計画書(ページ)	83		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	市街化調整区域を含む公共下水道事業認可区域			公共下水道の事業計画面積					
	→								
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	公共下水道が使用できる。			汚水処理面積普及率(下水道整備済み面積/下水道事業面積)					
	→								
3 経費	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	国の社会資本整備総合交付金事業の平成27年度から平成31年度までの5か年計画として計上し、平成27年度から平成29年度は国費事業、平成30年度は市単独事業として公共下水道管渠布設工事を実施した。当事業は、平成31年度が計画完了期間である為、完了後の事後評価を「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシートにより実施する。			公共下水道の供用開始面積(整備済み面積)					
	→								
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	
	対象指標	①の数値	ha	1,009.2	1,009.2	1,009.2	/		
	成果指標	②の数値	%	97.7	98.0	98.0			
	目 標	②の目標値	%	97.0					
目標値設定の考え方 社会資本総合整備計画に基づき設定									
活動指標	③の数値	ha	986.25	989.16	989.16	/			
3 経費	事業費(実績)		円	29,268,000	4,590,000	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	0	0	0			
		特定財源	円	29,268,000	4,590,000	0			
		(うち受益者負担)	円	2,034,090	992,900	0			
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3				
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0				
		職員人件費(再任用以外)	円	2,034,090.0	2,473,200				
職員人件費(再任用)	円	0							
事業費+人件費		円	31,302,090	7,063,200	0				
4 環境変化等	(1) 開始年度		27 年度						
	(2) 環境の変化		市街化区域と隣接する地域へ下水道管渠を布設したことにより、当該地域の生活環境の格差が是正された。汚水処理面積普及率が97%から98%となり普及率が向上し、河川の水質の改善が図られ生活環境が改善された。						

